

えひめ教育の日 実施状況

えひめ教育の日とは

愛媛県では、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として「えひめ教育の日」(毎年11月1日)、「えひめ教育月間」(毎年11月)を制定し、学校や行政だけではなく、家庭や地域などが一体となって、教育の推進を図ることとしています。

今年度、本校では、「えひめ教育月間」中の行事として、大農開放講座、農業祭を実施しました。

事業名	大農開放講座
日時	平成29年11月4日(土)9:00～11:30
場所	大洲農業高校調理実習室
参加者	生徒、地域住民、教職員

大農開放講座は高校生が教える側、地域住民と教職員が教わる側という、いつもとは逆の立場で行う本校独自のおもしろい事業です。今年度5回目の講座では、「ほうじ茶プリン、ぶどうのプリン、和紙の箸袋と箸置き」を作りました。ほうじ茶プリンはゼラチンで固め、とろとろの食感を楽しみながらみんなで一緒にいただきました。本校産のぶどうを使ったプリンと和紙で作った箸置き、箸袋はお土産に持って帰っていただきました。とても楽しく豊かな時間を過ごすことができました。



事業名	農業祭
日時	平成29年11月12日(日)9:00~15:00
場所	大洲農業高校全体
参加者	保護者、本校生徒、本校教職員、一般来校者

「笑顔あふれる農業祭—大洲に笑顔の花が咲く—」のテーマのもと、恒例の農業祭を開催しました。展示の部では学科ごとの学習展、文化部活動展などを実施しました。催しの部では吹奏楽部による演奏会や豊年踊り、お茶席、餅まきなどを行いました。販売の部では生徒手作りの加工品や草花、野菜、果物などを販売し、販売開始前から長蛇の列を作って買い求めてくれる来場者もありました。バザーの部では生徒手作りの定食を出す大農レストラン、PTAの協力による炊き込みご飯、焼き鳥、フライドポテト等の販売、手作りケーキを加えての喫茶DAINOの実施など農業高校らしいおもてなしの気持ちを込めた充実した取組ができました。

好天に恵まれ、すがすがしい秋晴れの中、多くの方にご来場いただき、大変有意義な一日となりました。

